

◇ 鷹木議長、成重副議長との意見交換会

令和5年1月13日(金)、市議会棟の議長室で鷹木研一郎議長、成重正文副議長と面会しました。井手尾会長から鷹木議長へ「農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書」を提出し、本市の農業を取り巻く現状や課題について意見交換を行うとともに、課題解決に向けた支援の要請を行いました。

鷹木議長からは「意見書の内容について副議長とともに精査、研究し、重要な課題については議会としてもがんばってまいります」との言葉をいただきました。



農業者年金に加入しませんか

農業年金は、農業者だけが加入できる公的年金です。

自分で納付した保険料を年金の原資とする積み立て方式で、加入者数の変化や財政事情に左右されない公的年金です。詳しくは 農業委員会事務局 まで。

<加入要件>

- ① 20歳以上60歳未満の方
- ② 国民年金の第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事する方



<加入のメリット>

- ① 積立方式で安定した財政運営が実施されます。
- ② 80歳まで保証のついた終身年金です。
- ③ 保険料は自由に選択でき、いつでも変更できます。
- ④ 保険料は全額所得控除の対象となります。
- ⑤ 一定の要件を満たす場合、国からの補助制度があります。

「全国農業新聞」を購読してみませんか



全国農業新聞は、
農業及び農政の現状を中心に、
農業者の経営とくらしに役立つ情報をお届けします。

お申し込みは 農業委員会事務局（各地区担当）まで

毎週金曜日発行
購読料

700円/月

北九州市農業委員会事務局の窓口

- ◆ **東部地区担当**（門司区、小倉北区及び小倉南区の区域担当）
北九州市小倉南区若園五丁目1番2号（小倉南区役所内） 【電話】093-951-1021
- ◆ **西部地区担当**（若松区、八幡東区、八幡西区及び戸畑区の区域担当）
北九州市八幡西区光明一丁目9番22号（折尾出張所内） 【電話】093-693-9971
- ◆ **庶務担当**
北九州市小倉北区城内1-1（本庁舎7階） 【電話】093-582-3265

北九州市 農業委員会だより

第6号
(令和5年1月)
編集・発行
農業委員会事務局



新年のごあいさつ



北九州市農業委員会 会長 井手尾 秋義

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、穏やかな新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
平素より農業委員会の活動に対し格別のご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。
昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染状況に不安を抱える日々が依然として続く中、コロナ禍における物流の混乱やロシアのウクライナ侵攻など、食料安全保障上のリスクの高まりを痛感した一年でありました。

農業を取り巻く環境では、農業人口の減少や高齢化、担い手不足など農業者の大幅な減少のおそれがある中で、農地等の生産基盤を守るため、その受け皿となる担い手の育成・確保と、地域を支える多様な人材・組織の確保は、喫緊の課題です。

また、食料の生産基盤である農地を確保し、地域で適切に利用されるよう、地域の話し合いにより将来の農地利用の姿を定め、農地の集約化等を進めるとともに、農地の計画的な保全、適切な利用を推進していくことも重要であります。

私ども農業委員ならびに農地利用最適化推進委員52名は、本年7月をもって3年の任期を満了することになりますが、残りの任期におきましても農業委員会の主たる使命であります「農地等の利用の最適化」（農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等）を柱に活動を推し進めてまいります。改めて皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年がよりよい年となりますよう、また、皆さま方の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和5年 元旦

農業委員会の活動

◇ 梅本副市長との意見交換会

農業委員会では、「農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書」をとりまとめ、令和4年10月27日(木)に市へ提出し、梅本副市長と本市の農業を取り巻く現状や課題、今後の農業振興の取り組みについて、意見交換を行いました。

当日は、市から梅本副市長、産業経済局 池永理事、坂田農林水産部長、藤島農林課長、中野農林施設担当課長、柳川鳥獣被害対策課長が、農業委員会からは井手尾会長、東部部会から中村副部会長、八木田副部会長、西部部会から久野副部会長、大庭副部会長、倉成副部会長が出席しました。

農業委員会から意見書の概要を説明した後、『北九州市版むらづくり活動の活性化』をテーマに意見交換を行いました。

梅本副市長からは「将来にわたって持続可能な農業を実現するためには、地域において課題解決に向けた合意形成を行う『むらづくり活動』が重要であり、その推進に向けて農業委員会の皆さんにご協力をお願いしたい」との発言がありました。



東部地区の活動

★ 学びながら野菜づくりができる体験型農園を開園しました

清水 正人さん(61歳)【農地利用最適化推進委員・小倉南区】

小倉南区で花きと水稻を栽培している清水正人さんは、市内の種苗店と連携して、令和4年4月に体験型農園『ラーニングファーム 石田』(総面積約1,100㎡ 51区画)を開園しました。

同園は、単に区画を貸し出すのではなく、学びながら野菜づくりができるという運営スタイルを取り入れており、栽培指導から管理まで行うことにより、「利用者が必ず収穫できること」、「参加者に農業・化学肥料使用の必要性和安全性を正しく理解してもらうこと」を目標に掲げています。経験豊富なスタッフからアドバイスを受けることができるので、初心者でも気軽に始めることができます。

JR石田駅近くに立地する同園は、家族連れの子供世代の入園者も多く、LINEやInstagramなどのSNS(ソーシャルメディア)による情報交換・情報発信も盛んです。また、栽培講習会や収穫祭等のイベントを通じた入園者間の交流も行われています。

清水さんは「この農園を通じて、一般の皆さんにも野菜づくりを体験してもらい、店頭に並んでいる農産物がどのように作られているのかを知ってもらいたい」と話しています。



西部地区の活動

★ 地元若松でホップを栽培しています

田中 義一さん(64歳)【農業委員・若松区】

農業委員の田中義一さん・悠介さん親子の農園では、「若松潮風キャベツ」や「若松クイーン(小玉スイカ)」など地元ブランドの農産物を栽培していますが、地ビールの原料となるホップの栽培にも取り組んでいます。

ホップ栽培を始めたきっかけは、ビールなどの原料となるホップを農園だけでなく幼稚園、小学校、大学、市民センターなど市民参加で栽培し、地ビールやヘア化粧品などを製造し、様々な工程で市民参加を促しながら販売等を行うSDGsまちづくり団体『響灘ホップの会』の活動に共感したからです。令和2年から同会の活動に参画、ホップ栽培を始めました。

当初8kgほどだった収穫量も、高さ5mまで支柱を伸ばし、その上にネット張るなど、茎を高く成長させる工夫をした結果、今季は20kgを超えるまでに増えたそうです。今後も「毎年20kg程度の収穫量を目標に栽培を続けていきたい」と意気込みを語ってくれました。

田中さんの農園では、ホップの収穫に市民の方にも参加してもらっています。収穫作業を通して、知らない人同士が知り合うきっかけになり、人と人の繋がりが広がるなど、農作物の栽培が地域づくりの発展に貢献していると実感しているそうです。市政だより(令和5年1月1日号)で紹介された若松中央小学校の「グリーンカーテン」として育てられたホップの苗も田中さん提供によるものです。田中さんは「こうした地域での活動を通じて若松の活性化にも貢献していきたい」とのことです。

若松産ホップを原料にして作られた地ビールは「HIBIKI FRESH HOPS 若松エール」として販売されています。



農地法関係 許可申請、届出処理状況 (令和4年1月~12月)

	門司地区		北・企救地区		曾根地区		三谷地区		東部地区 計		若松区		八幡東区		八幡西区		戸畑区		西部地区 計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
法第3条許可	12	18,862	4	2,319	20	37,998	18	41,679	54	100,858	5	4,346	0	0	15	19,428	0	0	20	23,774
法第4条許可	0	0	1	2,035	3	4,775	1	2,532	5	9,342	3	4,804	0	0	2	2,268	0	0	5	7,072
法第4条届出	7	3,208	15	7,448	5	2,259	4	3,727	31	16,642	8	2,897	2	34	36	15,013	4	818	50	18,762
法第5条許可	4	3,162	2	4,160	22	26,701	3	2,317	31	36,340	4	1,754	0	0	7	3,151	0	0	11	4,905
法第5条届出	15	6,626	29	13,548	50	25,938	7	11,676	101	57,788	26	10,334	2	611	175	66,437	5	2,054	208	79,436
法第18条通知	1	1,542	1	1,169	6	13,406	3	2,953	11	19,070	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農地改良届	1	2,985	0	0	2	1,776	1	961	4	5,722	1	781	0	0	3	2,179	0	0	4	2,960
農業経営基盤強化促進法第18条決定	26	67,939	4	14,338	80	255,124	19	49,640	129	387,041	179	320,082	9	6,669	76	108,387	0	0	264	435,138
不動産買受適格証明	0	0	0	0	1	315	0	0	1	315	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

議事案件